

E-b 社員とともに—社員の安全・健康・快適職場の確保

社員とともに—社員の安全・健康・快適職場の確保

[活動方針]

私たちは、すべての事業活動のプロセスにおいて、人の安全・健康の確保を最優先に考え、社員への意識啓蒙や個別のアプローチを積極的に行い、こころとからだの健康づくりを推進します。

E-b

2013年安全衛生管理年間計画

労働安全衛生

2012年は、HORIBAグループ方針「HORIBA PREMIUM～高品質な価値の創造」のもと、グループ安全衛生管理年間計画を策定し、年間目標達成に向けて社員が一丸となって安全衛生活動を実施しました。

国内グループ会社（㈱堀場製作所、㈱堀場アドバンスドテクノ、㈱堀場エステック、㈱堀場テクノサービスが対象）によるシェアドサービスも浸透し、安全衛生活動も一体となって、国内グループ会社を一元的に管理、推進しています。

2013年もHORIBAで働くすべての人に、より安全で快適な職場を提供します。営業拠点であるセールスオフィスや、阿蘇工場・びわこ工場でもグループ会社の垣根を取り去り、事業所として様々な安全衛生活動に取り組みます。

2013年安全衛生管理年間計画

年間スローガン

社は「おもしろおかしく」のもと、こころとからだの健康を大切にし、明るく活気のある職場づくりを推進しましょう

年間目標

〔安全衛生〕

- (1) 労働災害防止 業務上災害・業務上交通災害/職業性疾病/通勤途上災害をゼロにする
- (2) 交通安全 死亡事故/加害人身事故/自責事故(加害・自損)をゼロにする

〔労働衛生〕

- (1) 健康確保 健康診断受診率を100%にする
二次検査受診率をアップする
- (2) メンタルヘルス 新規メンタル不調者数を前期より減少する
メンタル不調再発者数を前期より減少する

E-b 2012年安全衛生の取り組み

職場巡視・パトロール

職場巡視・パトロールを重点実施事項に位置づけ、経営トップ、総括安全衛生管理者、産業医、部門長、安全管理者、衛生管理者がそれぞれの眼で職場・設備・作業・社員の潜在リスクをチェックし、災害事故の未然防止と改善活動につなげました。



職場巡視・パトロール

安全衛生教育

業務や通勤途上など、様々な状況で発生するリスクに対する社員の感受性を高め、社員自身が安全・健康（安心・安全）に働けるよう、健康保持増進を図ることを目的に、安全、衛生、健康、メンタルヘルス、交通安全などの教育を実施しました。

昨年より京都府警交通機動隊によるバイク講習を実施し、なかなか目にする事のない警察での一流の指導を受け、基本動作・安全確認の重要性を再確認しました。



くつき 朽木研修センター（ファンハウス）での職長教育



バイク通勤者対象の安全運転講習会



AED（自動体外式除細動器）救命講習会

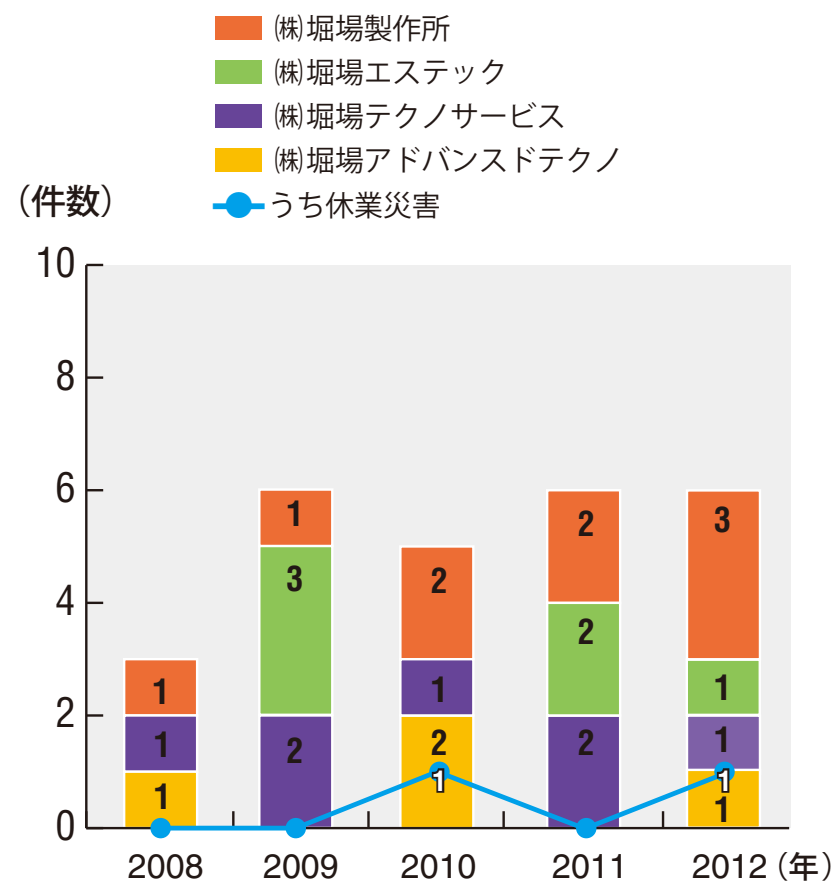
E-b 年間目標の取り組みに対する結果(1) 労働災害

労働災害

「労働安全衛生面」では、業務上災害ゼロをめざし、リスクアセスメントを活用したPDCAサイクルの円滑な循環を推進しましたが、2012年、HORIBAグループでは、休業を伴う重大災害1件と5件の不休業災害が発生しました。

この結果を厳粛に受け止め、安全衛生ルール・交通ルールの遵守を基本に、発生した災害内容について、関連部門に災害防止の教育を行うなど、グループ会社全体に水平展開を実施しました。

労働災害発生件数(対象は業務上災害)



労働安全衛生

HORIBA Gaiareport 2013

E-b 年間目標の取り組みに対する結果(2) リスクアセスメント

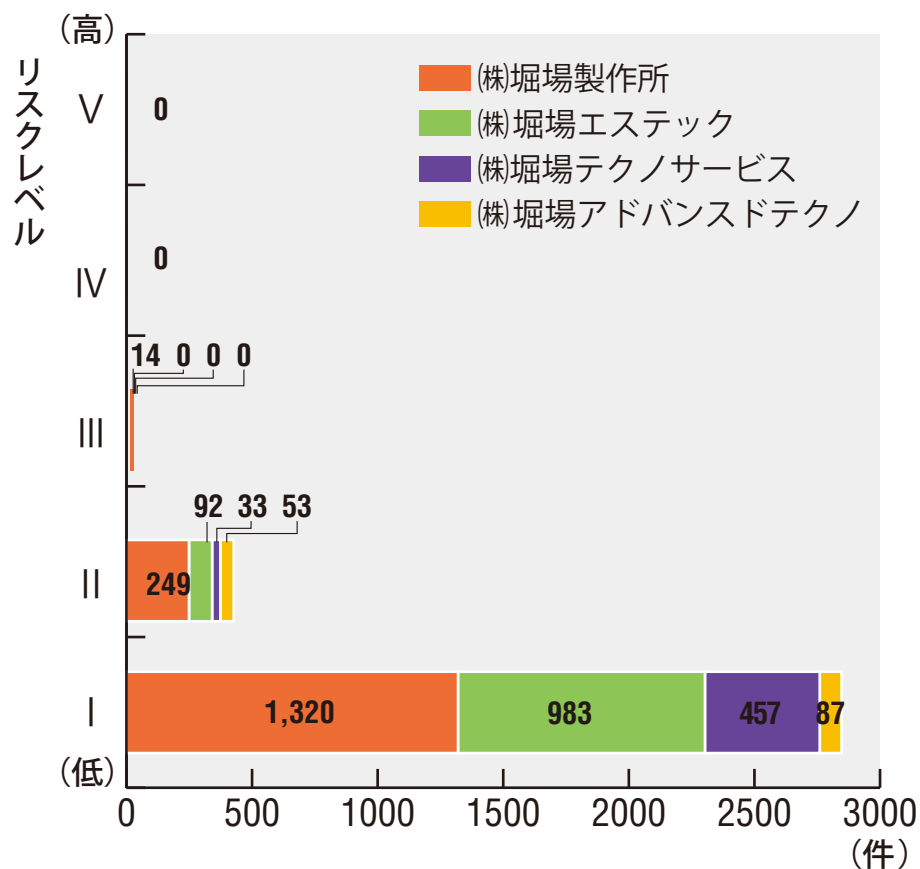
リスクアセスメント

各職場において、労働災害・交通事故・ヒヤリハット体験・職場巡視指摘事項・設備導入前や4M条件変更*等の危険源のリスクを分析し、リスクアセスメントをおこなっています。その結果を5段階（高V～低I）のリスクレベルで分類し、リスク低減の対策を計画、実行し、効果の確認を行っています。

リスクアセスメント実施基準を国内グループ会社間で統一、ネットワークにリスクアセスメント情報データベースを設置、全従業員が登録、閲覧できる体制を整えました。自部署における残存リスクの情報や、他部署における災害・リスク・好改善事例等の情報の水平展開に役立っています。

* 4M条件：生産の4要素。「人 (Man)、機械 (Machine)、材料 (Material)、方法 (Method)」。

2012年リスクアセスメント結果



労働安全衛生

E-b

健康管理・健康増進の取り組み

こころとからだの健康づくり活動

メンタルヘルスについては教育にとどまらず、社員同士の交流の場を提供するなど（社員同士の交流を企画・推奨するなど）職場のコミュニケーション活性化に注力し、社員一人ひとりが「おもしろおかしく」を体現できるよう働きやすい会社作りに取り組んでいます。また、『こころとからだの健康づくり』を目的に、2012年5月7日付で㈱堀場製作所社長より「こころとからだの健康づくり」宣言が発表され、組織を超えた横断的メンバー（健康管理室・グローバル人事部・総務部・IMS（統合マネジメントシステム）認証管理部署・健康保険組合・福利厚生会社・労働組合）で設立された『こころとからだの健康づくりプロジェクト』を中心に、更なる社員の健康保持増進につなげています。

「こころとからだの健康づくり」宣言（2012年5月7日）

HORIBAグループは社是「おもしろおかしく」の下、生きがい、働きがいを持ち、充実した人生を過ごすために、一人ひとりの従業員の心身の健康を大切にし、明るく活気ある職場づくりを推進する。

㈱堀場製作所
代表取締役会長兼社長

「こころとからだの健康づくり」に関する行動指針（2012年5月7日）

HORIBAグループは“こころとからだの健康づくり”宣言を具現化するために、「3つの予防」と「4つのケア」に取り組む。

◆「3つの予防」を推進する

【一次予防】 心身の健康増進と病気やケガの発生予防を目指す。

【二次予防】 病気やケガを早期に発見し、早期治療や重症化予防のための措置を行う。

【三次予防】 病気やケガが発生した場合、職場や社内外の健康管理スタッフは守秘義務を遵守、業務復帰後の再発予防にとどまらず、本人と職場の不利益が最小限となるよう取り組む。

【PDCA】 社内健康増進部署はグループ安全衛生会議と連携して中期目標を設定し、一次予防、二次予防、三次予防のためのアクションプランと効果測定指標を策定する。効果測定指標の到達度を評価して、新たなアクションプランに反映する。

◆「4つのケア」を強化する

【セルフケア】 ホリバリアン*一人ひとりが自らの健康・ストレス状態に注意を払い、不調時は迅速かつ適切に対処する。

【ラインケア】 上司は、日ごろから部下や関係者の就労状況、健康状態に目を配って不調者の早期発見に努める。

【社内の健康管理スタッフによるケア】

社内の健康管理スタッフは、必要な情報やアドバイスを提供して、ホリバリアン一人ひとりの健康増進を支援する。

【事業場外の専門家によるケア】

社外専門機関と連携し、ホリバリアン一人ひとりが守秘義務のもと気軽に利用できる体制を整える。

【ワークライフバランス】

「4つのケア」を強化するとともにホリバリアン一人ひとり支援し、適宜ご家族と連携して健康づくりに取り組む。

*ホリバリアン：HORIBAグループで働くすべての人

労働安全衛生

KEYWORDS

：| 労働安全衛生 | 労働災害 | リスクアセスメント | 健康管理・増進

E-b 健康管理・健康増進の取り組み

健康管理体制

健康管理スタッフの中心的存在である健康管理室では、専属産業医1名、保健師1名、看護師1名が全国のHORIBAグループの社員に対する健康管理や健康増進の活動に取り組んでいます。社員の心身の健康に気を配り、定期健康診断結果にもとづいた産業医・保健師による面談や指導を行うなどの活動を通して、働きやすい職場環境づくりの一翼を担っています。

HORIBA ファーム誕生

2012年4月、滋賀県高島市に「HORIBA ファーム」が誕生。ブルーベリーを中心に季節野菜の無農薬有機栽培を開始し2012年は社員とその家族、延べ209名が農作業に参加しました。HORIBA ファームでの農作業体験を、社員と家族のこことからだの健康づくりの一環とするとともに、社員とその家族の手で育て収穫した野菜や果実は、社員食堂や研修所などで活用していきます。



HORIBA ファームでの作業風景